

朝食を学生寮の前にあるレストランで食べ、荷物を全部バスに入れた後、マヒドン大学のノイナ先生達と記念撮影をして、バンコクへ移動開始です。途中、カンチャナブリを流れるクワイ川に向かいました。クワイ川には第二次世界大戦中に日本軍が作った橋が架かっており、現在も使われています。この橋は映画「戦場に架ける橋」の舞台ともなったところで、列車が来ないときであれば人が渡ることもできます。天気が残念ながら雨だったので、傘をさしながら見学しました。戦時中に建設されたにも関わらず、何十年も経った今でもタイの人たちに使



現在も使用されている橋

い続けてもらっているのは、日本人としてうれしいことだと感じました。バンコクへ向けて出発するころには、実際に橋を列車が通っているところも少しでしたが見る事ができました。たくさんの方が見に来ていて、中には日本から来たらしいグループも見かけました。橋の傍にマーケットがあつて、たくさんのお店があります。この辺りには鉱山があるため、特に宝石類を扱っているお店が多くみられました。店の中には店員さんがいないところや、いても寝ていたり、日本とは全く違った光景を見てると盗まれたりしないのか心配になってしまいました。1時間の自由行動を各自見学と買い物をして楽しんだ後クワイ川を出発しました。出発してから少しすると墓地がありました。ここには橋を作っていた時に亡くなった人が眠っているそうです。

お昼ごはんを兼ねてTESCOという大型ショッピングセンターで1時間休憩しました。9月25日に見学に行った米粉工場でいただいた米粉パウダーをお土産として購入している人もいました。約1時間かけて実習中3度目の宿泊となるバンコク市内にあるドゥシットプレイスホテルに到着しました。

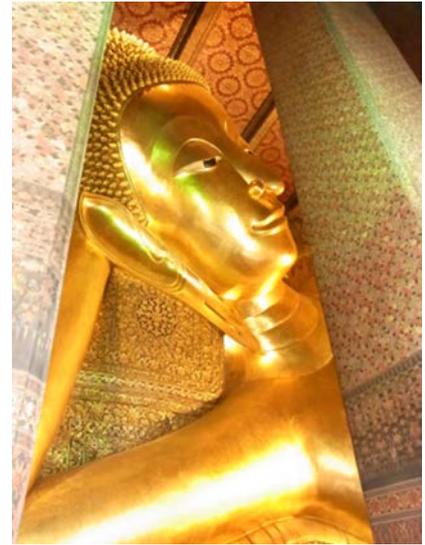
今日はタイ文化のお勉強の日です。ここまで同行していただいたマヒドン大学のクワン先生に案内してもらい、初めにワット・ポーという寺院を訪れました。ここには国王ラマ1世から4世までの遺骨が埋葬されている4つの高い塔があります。塔はそれぞれ色が少しずつ異なりますが、どれも花の模様が装飾されておりとても華やかできれいでした。クワンさんの話によると、ここは古くからある寺院で、中国とタイとの共同で建てたものだそうです。なるほど寺院内の石像や色合いにはどこか中国らしい雰囲気を感じていたのが納得です。またワット・ポーはタイ式マッサージの総本山であり、今もタイ式マッサージの学校があるそうです。

そしてワット・ポーにはもう一つの見所があります。それは巨大なリクライニングブツダ、つまり横になっている寝釈迦仏です。靴を脱いで中へ入るとすぐに釈迦の頭にお目にかかります。釈迦は全身金色で、右手で頭を支えてテレビを見るように横になっています。天井は朱色と金色の模様、柱には蓮の花、壁には一面に村や人々を表した絵が描かれていました。この壁画はストーリー性をもっていて、釈迦についてのお話を描いているそうです。釈迦の体の前を通る順路を進んでいくと顔、胸、腰、脚と次第に全体が見えてきて、足下からは全身を見る事ができました。足の裏には貝殻のようなものが埋め込まれいくつもの仏像の絵が描かれており、また指の指紋まで表現されていました。釈迦の指紋は全ての線が完全な円になっていて、私たちの指紋とは少し違います。でも、たまに釈迦と同じような指紋がある

指があり、それが1本あると言ってクワン先生は嬉しそうに教えてくれました。タイではやはり仏教が強く根付いていて、真面目な人は毎日、そうでなくとも週に1度くらいはお祈りをしに寺院を訪れるそうです。クワン先生は、バンコクにいるときは忙しくあまり行けていないが、実家に帰ったときは必ず毎日寺院に行くそうです。一応仏教徒、となっている日本人とは大きな差を感じました。

ワット・ポーからすぐ近くの船着き場から船に乗りチャオプラヤ川を渡るとワット・アルンという寺院があります。ここはラマ2世から3世の時代に建てられたもので、敷地内にはラマ2世の石像もありました。ここには1つの大仏塔と4本の小仏塔があり、いずれにも無数の陶器の破片が埋め込まれているようで光をうけて輝いていました。ここでは大仏塔に上ることができる階段がありますが、今日はもう終了して

いたためのぼることはできませんでした。仏塔は夕日をうけて美しく、また向かいに見えるチャオプラヤ川も、水はきれいとは言えませんがたくさんの船が通り、バンコクの街の断面も見え趣深いところでした。ここでお世話になったクワン先生とお別れし、私たちは食事をとりにタイ風すき焼きのお店に行きました。タイ風すき焼きはすき焼きというより鍋に近く、またお肉はしゃぶしゃぶのように薄く切ってありました。同じ名前がついている料理でも国によっていろいろ変わるものです。タイで最後の食事を済ませ、ホテルへと戻りました。充実していたタイでの日々も明日でおしまいです。寂しいような嬉しいような、思うことが色々ありました。今日もよく眠れそうです。



ワット・ポーの寝釈迦仏